

令和2年度第1回 羽島市高齢者等施策検討委員会 会議録（要旨）

日 時	令和2年7月16日（木）13：30～15：00
場 所	市役所本庁舎4階 第一会議室
出席者	<p>委員：服部敏雄委員、田中吉政委員、河合悟委員、林良三委員、古澤幸江委員、浅井廣志委員、鈴木登司雄委員、山田郁子委員、杉田昌利委員、河合省三委員、伊藤克巳委員、南谷金伯委員、野々村千恵子委員、渡辺敏隆委員、浅野洋子委員、小島美登子委員（欠席：後藤真澄委員、坂井田嘉代委員）</p> <p>事務局：松井羽島市長、石黒健幸福祉部長、堀健幸福祉部次長（兼）高齢福祉課長、松下介護施設係長、足立高齢福祉係長、八島介護業務係長、川出主事</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>（1）会長等の選任について 田中委員を会長、浅井委員を副会長に互選</p> <p>（2）第7期高齢者計画の令和元年度実績報告について 事務局より令和元年度の実績について説明</p> <p>質疑・応答</p> <p>委 員：地域ケア会議について実績が少ないがどういう検討をしているのか。</p> <p>事務局：計画的に実施できるよう、令和2年度において地域ケア個別会議を4回、自立支援型地域ケア会議を4回開催する予定である。</p> <p>（3）第7期高齢者計画の令和2年度事業計画について 事務局より令和2年度事業計画について説明</p> <p>質疑・応答</p> <p>事務局：（事前質問への回答） 認知症カフェを運営する団体へは、羽島市認知症カフェ運営補助金の交付により支援している。</p> <p>委 員：実績はどの程度あるのか。交付要綱は変わっていないのか。</p>

事務局：実績はない。要綱については28年3月31日以降変更していない。

委員：地域包括支援センター増設についての進捗はどうなっているか。

事務局：運営の意向のある法人へヒアリングを行う予定であるが、コロナで面談を控えていたため、今後行う予定である。あわせて、運営財源などの検討をしていく。

委員：今年には既に地域ケア会議を1回実施したとのことだが、どのような内容であったかのか

事務局：6月18日に孤立したご家族のケアについて、困難ケース型を行った。参加職種は、ケアマネージャー、高齢福祉課職員、地域包括支援センター職員である。

委員：地域ケア会議を開催する際は、職種の代表である本委員会の委員に協力願ってはどうか。

事務局：事例に応じて検討する。

(4) 羽島市高齢者等実態調査の結果について

事務局より高齢者実態調査について説明

質疑・応答

委員：アンケート結果の取組みへの反映はどうなっているか。

事務局：調査結果は、第8期の高齢者計画の策定に向けた資料として考えている。現段階では、資料を集め素案を作成していく段階である。

(5) 次期高齢者計画について

事務局より次期高齢者計画について説明

質疑・応答

委員：認知症高齢者の方の事故に対する保険に加入している自治体もあるが、そのような新たな取組みについて検討してはどうか。

事務局：市では、認知症は国全体の問題あり、統一的な基準とすべきであると考えていることから、毎年、国による制度の創設について、市長会を通じて要望している。

委員：介護状態への主な原因の「脳卒中」、「骨折転倒」については、骨粗しょう症と血圧の治療をしっかりとやるということが減らすことができる。市の健診をしっかりとる施策を期待したい。

	(6) その他
	4 閉会